

0ATW13D 知的財産と情報の安全

2.0 単位, 1・2 年次, 春AB 土5,6

阪口 哲男, 高良 幸哉, 村井 麻衣子

授業概要

情報に関連する法制度や裁判例を概観し、情報化・ネットワーク化が進む現代社会における法的問題とそれに関わる技術について検討を行う。具体的には、著作権法などの知的財産法や、プライバシー・個人情報保護その他の情報に関する法を扱う。また、社会規範を守るという観点から見ると、情報社会において情報に関する法的権利へ配慮することは、情報倫理としても求められるようになっている。さらに情報の安全や知的財産保護に関する技術の基礎についても扱う。この講義では、情報に関する法制度と関連する技術の基礎的な事項を確認するとともに、法制度のあり方や実際の事例について自ら検討を行い、幅広い視野での理解を深める。

備考

東京キャンパス開講;毎年日本語で授業;情報インタラクション専門科目;教職科目

0ATW138と重複履修不可。

オンライン(オンデマンド型)

授業方法

講義

学位プログラム・コンピテンスとの関係

国際性 意味的研究力 リソース専門知識 情報倫理観

授業の到達目標(学修成果)

情報に関連する法制度と関連する技術の基本的な概要を理解するとともに、実際の事例や法的に問題となりうる論点について考察することにより、情報社会における法的問題へ対処できるようになることを目標とする。

キーワード

知的財産法, 著作権, 個人情報, プライバシー, サイバー犯罪, 暗号化技術, 情報システム

授業計画

- (1) 知的財産法の概要(村井)
- (2) 特許法、商標法、不正競争防止法など(村井)
- (3) 著作権法(村井)
- (4) 著作権に関する事例(村井)
- (5) 情報の安全と暗号化技術(阪口)
- (6) 知的財産保護のための技術(阪口)
- (7) 情報システムの安全(阪口)
- (8) プライバシー(高良)
- (9) 情報公開・個人情報保護法制(高良)
- (10) サイバー犯罪、インターネット上の権利侵害(高良)

履修条件

成績評価方法

評価のため、小テスト6回、レポート2回を課す。

レポートの評価項目は問題の理解、授業理解、論理整合性、調査（判例、事例等）、形式面、

として点数化する。

小テスト6回を45%、レポート2回を55% として総合し、60点以上を合格とする。

授業外における学修方法

授業で示された資料を事前に読んでおくこと。必要に応じて参考文献や関連資料を参照しつつ、各回の課題やレポートに取り組むこと。

教材・参考文献・配付資料等

参考書

田村善之『知的財産法』(第5版・有斐閣・2010年)

曾我部真裕他『情報法概説』(第2版・弘文堂・2019年)

松井茂記他『インターネット法』(有斐閣・2015年)

小泉直樹他編『著作権判例百選』(第6版・有斐閣・2019年)

結城浩『暗号技術入門』(第3版・SBクリエイティブ・2015年)

資料の配布はmanabaで授業時に行う。

オフィスアワー等(連絡先含む)

阪口 哲男 火曜4時限目 7D312

saka@slis.tsukuba.ac.jp <https://www.sakalab.org/>

高良 幸哉 月曜3時限目 7D509

takara@slis.tsukuba.ac.jp

村井 麻衣子 水11:00-12:00 7D506

myco@slis.tsukuba.ac.jp

その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)

オンライン(オンデマンド型)、manabaとMS Streamを用いる。

(各回の講義動画を視聴のうえ、小テストやレポートなどの課題に取り組む。)

他の授業科目との関連

0ATW111 データサイエンス実践

0ATW131 知識情報分析

0ATW13A 知識情報分析

0ATW151 図書館メディア文化史

0ATW15A 図書館メディア文化史

ティーチングフェロー(TF)・ティーチングアシスタント(TA)